

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所
設置者名	学校法人高岡第一学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	幼児教育科	夜・通信	16単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

職員室備え付け

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所
設置者名	学校法人高岡第一学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人高岡第一学園のホームページにて公表。
<https://www.takaoka.ac.jp/gakuen/hojin>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019.01.30 ～ 2022.01.29	法人運営体制への 助言機能
非常勤	株式会社役員	2018.03.30 ～ 2021.03.29	法人運営体制への 助言機能
非常勤	株式会社役員	2019.03.27 ～ 2022.01.29	法人運営体制への 助言機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所
設置者名	学校法人高岡第一学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>前年度末までに次年度の各科目の担当教員が決定し、担当教員が授業計画書(シラバス)を作成する。授業計画書(シラバス)は年度初めに公表。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成に当たっては、「授業科目名」、「授業形態(講義・演習・実技)及び単位数」、「担当教員名」、「担当形態」、「到達目標及びテーマ」、「授業の概要」、「授業計画(授業回数)」、「テキスト」、「参考書・参考資料等」、「学生に対する評価方法」の項目について記載。学生が理解できるよう分かりやすい言葉で記述し、評価方法においてはどのような観点でどの程度の評価をされるのか具体的に記述する。実務経験のある教員等による授業科目においては、その旨記載する。</p>	
授業計画書の公表方法	職員室備え付け
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位の授与については、学則第14条に定めている通り、授業時数の5分の4以上出席し、かつ試験に合格した者に対して与えている。実技実習においては報告書、または平素の成績をもってこれにあてることができる。また評点は、優・良・可・不可で以ってし、可以上を合格としている。</p> <p>各科目の学修成果においては科目ごとに作成されるシラバスに記載されている通り、試験、課題への取り組み状況、レポート、提出物等、各教員が定める方法で総合的に評価している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的な指標について、本所では履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出したものを、「0～49点」「50～59点」「60～69点」「70～79点」「80～89点」「90～100点」の数値で分布した表を作成している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所のホームページにて公表。 http://www.takaoka1.com/youseisho/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本所は、本学園の建学の精神に則り、人格形成を重視し、愛情豊かで使命感に燃え、社会の発展・児童福祉の増進に貢献する有能で円満な保育者を養成することを教育目標に掲げ、地域社会に貢献し、保育・幼児教育業界の必要とする人材の育成を目指している。</p> <p>したがって、本所の2年間の課程で学生が身につけるべき資質・能力は、愛情にあふれ信頼に厚い豊かな人間性と、幼児教育・保育に関する幅広い専門知識・技術である。</p> <p>これらを学校生活において修得し、各科目において単位を認められた者が卒業を認定されるには、学則第23条に定められている通り、本所に2年以上在学し、幼稚園教員免許状、保育士資格取得に必要な該当する単位を取得すること、教員会にはかり卒業認定に合格することが条件である。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所のホームページにて公表。 http://www.takaoka1.com/youseisho/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所
設置者名	学校法人高岡第一学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.takaoka1.com/youseisho/
収支計算書又は損益計算書	http://www.takaoka1.com/youseisho/
財産目録	職員室備え付け
事業報告書	職員室備え付け
監事による監査報告（書）	職員室備え付け

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	幼児教育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	66 単位	56 単位	41 単位	14 単位	0 単位	0 単位
111 単位時間 / <u>単位</u>							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		62 人	0 人	11 人	19 人	30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）本所は幼稚園教諭二種免許状と保育士資格取得を目指している。よって、幼稚園教員免許状取得に係る科目においては、教育職員免許法及び同法施行規則に定められた科目を開設。また、保育士資格取得に係る科目においては、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の規定により定められた科目を開設。</p> <p>授業方法（授業形態）は、講義・演習・実習のいずれかによる。</p> <p>学年を2学期に分け、前期を4月1日～9月30日まで、後期を10月1日～3月31日までとする。科目ごとの授業計画においては、シラバスに記載。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）単位の授与については、学則第14条に定めている通り、授業時数の5分の4以上出席し、かつ試験に合格した者に対して与えている。実技実習においては報告書、または平素の成績をもってこれにあてることができる。また評点は、優・良・可・不可で以ってし、可以上を合格としている。</p> <p>各科目の学修成果においては科目ごとに作成されるシラバスに記載されている通り、試験、課題への取り組み状況、レポート、提出物等、各教員が定める方法で総合的に評価している。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 本所は、本学園の建学の精神に則り、人格形成を重視し、愛情豊かで使命感に燃え、社会の発展・児童福祉の増進に貢献する有能で円満な保育者を養成することを教育目標に掲げ、地域社会に貢献し、保育・幼児教育業界の必要とする人材の育成を目指している。</p> <p>したがって、本所の 2 年間の課程で学生が身につけるべき資質・能力は、愛情にあふれ信頼に厚い豊かな人間性と、幼児教育・保育に関する幅広い専門知識・技術である。</p> <p>これらを学校生活において修得し、各科目において単位を認められた者が卒業を認定されるには、学則第 23 条に定められている通り、本所に 2 年以上在学し、幼稚園教員免許状、保育士資格取得に必要な該当する単位を取得すること、教員会にはかり卒業認定に合格することが条件である。</p>
学修支援等
<p>(概要) 入学前に学生生活に関するガイダンスを実施し、入学後には学則、授業科目等についてのガイダンスを実施することで、学校生活が円滑に送れるように支援している。また担任制を導入し、学生生活を総合的にサポートする体制を作っている。定期的に面談を行い、授業科目の履修や学校生活での不安や悩みについての相談に乗ったり、個別に就職支援をしたりしている。就職に関してはジョブカード作成アドバイザーや職業教育・キャリアサポーターの資格を保有している専任教員とも連携を取りながらきめ細かくサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28 人 (100%)	1 人 (3,6%)	27 人 (96,4%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
・ 幼稚園・保育園・幼保連携型認定こども園・児童福祉施設・社会福祉施設			
(就職指導内容)			
進路や就職に関しては 2 年生担任がきめ細かく対応している。またジョブカード作成アドバイザーの資格や職業教育・キャリアサポーターの資格を保有している専任教員が就職支援のフォローもしている。			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
・ 幼稚園教諭二種免許状・指定保育士養成施設卒業証明証 (保育士) ・ レクリエーションインストラクター資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67 人	7 人	10.4%
(中途退学の主な理由)		
学習意欲の減退や進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
学生の能力に応じた個別指導やカウンセリングなどを行い退学者の低減に努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
幼児教育科	150,000 円	400,000 円	280,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.takaoka1.com/youseisho/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 企業等の役員、卒業生、父兄後援会理事の委員で構成される学校評価委員会が (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 教育成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域連携からなる自己評価項目について評価を実施する。そこで得られた助言や意見を本所職員で構成される学校評価会議で審議し、いつ、どのように教育活動や学校運営に反映させていくのか具体的に話し合い、計画を立てて実施している。また、実施した事項についての評価も学校評価会議で行い、確実に教育活動の向上、学校運営の改善につながるようにしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人 高岡第一学園 高岡第一高等学校 校長	令和2年4月 ～令和3年3月31日	企業等委員
社会福祉法人 かづみ野 堀岡保育園 園長	令和2年4月 ～令和3年3月31日	企業等委員
元 高岡市立保育園 保育士	令和2年4月 ～令和3年3月31日	卒業生
父兄後援会	令和2年4月 ～令和3年3月31日	父兄後援会理事
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.takaoka1.com/youseisho/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.takaoka1.com/youseisho/
--